

ガーナからの手紙

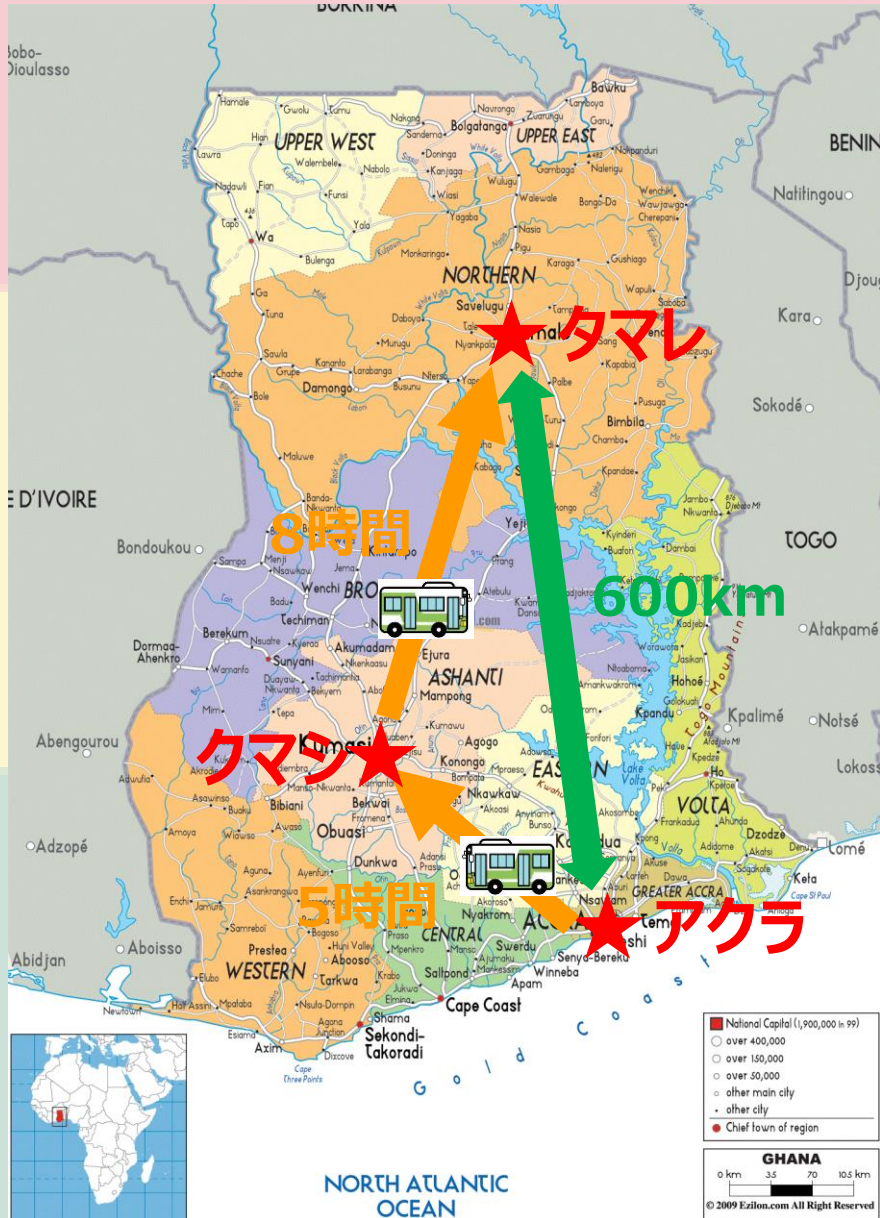
2018年11月11日

青年海外協力隊 2018年度2次隊
市川 将志 (いちかわ まさし)

目次

1. 配属先の都市タマレの紹介
2. ホームステイの説明
3. ホームステイで驚いたこと
4. タマレで撮った写真紹介

タマレってどんな所？



私の配属先（これから2年間働く学校）がある都市です。

ガーナ第3の都市

ノーザン州の州都

人口：約36万人

気候：乾燥して暑い！

最近は最高気温36℃、最低気温24℃
日差しが刺すように痛い。。

移動手段：バス、飛行機

今回はバスで片道13時間

名産品：米

現在都市開発の真っ只中

タマレってどんな所？

タマレではアフリカの古い文化や習慣が残っていて、以下の特徴があります。

- ガーナ人の中でもダゴンバと呼ばれる民族が住んでいます。
- 現地語はダバニ語で、英語とダバニ語の両方が話されています。特にあいさつはダバニ語が使われています。
- あいさつは非常に重要です。特に年上の人には必ずあいさつします。
- ガーナ時間と呼ばれる時間があり、約束しても30分くらいは平気で遅れて来ます。
- 食事、握手、物の受け渡しなど、基本的に右手を使います。左手は不浄の手（トイレで使う手）と考えられていて、使うと失礼にあたります。
- 豚、馬、犬は食べません。
- 屋外では食事をしません。
- 宗教はイスラム教、キリスト教、昔からの伝統的宗教の3つがあります。伝統的宗教では今でも動物をいけにえにする文化が残っています。
- 男尊女卑（女性より男性の方が偉いという考え）が残っています。
- 一夫多妻制（一人の男性が複数の女性と結婚できる制度）です。
- 男性は年上女性とは結婚できません。年下女性とのみ結婚が許されています。
- 女性から男性に告白することはありません。男性から女性のみ告白します。
- 女性は肌を露出しません。ミニスカートはNGです。

ホームステイの目的

そもそもホームステイとは・・・

留学生などが、その国の一般家庭に宿泊して生活体験をすること。

今回の目的

- 現地の文化、習慣を理解する

ガーナでは多くの民族が暮らしていて、各々の**地域、民族**で文化や習慣が異なります。そこで、自分が今後2年間暮らす地域で2週間ホームステイをして、その地域、民族について理解を深めます。

- 現地語の習得する

ガーナの公用語は英語ですが、今でも各地域で70以上の現地語が使われています。配属先のタマレでも**ダバニ語**という現地語が使われているので、それを話せるように勉強します。

- 配属先へのあいさつ

配属先である**バガバガ教員養成校**に行き、関係者へあいさつして顔と名前を覚えてもらいます。また、今後2年間の活動について、一緒に計画を立てます。

ホームステイ先



ホームステイ先の家
間取りは3LDKで4人暮らし



自分用の部屋
置いてあるのはベッドのみ

家族構成



フローレンス
強い女性で結構怖い



フローレンスの母親
接する機会が少なかった



オージェスティーナ
中学1年生の12歳
大人しくて真面目



リチャード
小学生の8歳
明るくてお調子者

現地語：ダバニ語

ダバニ語とは・・・

- ノーザン州のダボン地域で話されている現地語です。
- ダバニ語を使っている民族はダゴンバと呼ばれています。
- 英語のアルファベットと、見たことがない5つのアルファベットの組合せで表現されます。



ダバニ語のカーンバ先生

ダバニ語の例

ダバニ語	読み方	意味
Dasiba.	ダシバ	おはようございます。
Antire.	アンティレ	こんにちは。
Aninwula.	アニウラ	こんばんは。
N yuli Masashi.	ン ユリ マサシ	私の名前はマサシです。
N yila Japan na.	ン イラ ジャパン ナ	私は日本から来ました。
yini	イニ	(数字の) 1

配属先：バガバガ教員養成校



タマレ中心部から4km離れた郊外にある、将来学校の先生になりたい学生が通う学校です。日本でいうと大学の教育学部に相当します。

生徒数：約1500人

教員数：約70人

学年：3学年



仕事内容はパソコン（主にマイクロソフトのWord、Excel）の使い方を教えることです。ガーナでは小学校からパソコンの授業が必修科目となっていて、先生が生徒に使い方を教える必要があり、この学校で使い方を学びます。パソコンの台数が足りなくて、2人で1台を使って授業することになりそうです。

ホームステイで驚いたこと(1)



フレンドリー

街中を歩いていると、初対面の人（大人、子供両方）がいきなり挨拶して来たり握手、ハイタッチして来ます。ガーナ人は挨拶を大切にしているためです。最初は抵抗がありましたが、今は余裕です。



近所の人達と仲が良い

近所の人と挨拶するのはもちろん、家に食事に招いたり一緒に行事に参加することも多いです。その地域全体で一つの家族のような関係性です。



生活が不便な一面も

洗濯機が無く手洗い、シャワーが無くお湯が出ないためバケツで水を浴びる、コンビニや自動販売機が無いというように、普段の生活で不便を感じることもあります。

（写真は朝5時から手洗いで洗濯している様子）

ホームステイで驚いたこと(2)



毎日教会に行く

一家はキリスト教信者で、ホストマザーとその母親は毎日、子供も毎週日曜日に教会に行って祈りをささげます。多くの人が訪れています。一度連れて行ってもらいましたが、何をしているのかよく分かりませんでした。



子供たちが家事を手伝う

朝早くから夜まで子供たちが掃除、洗濯、料理を手伝います。



料理の量がとにかく多い

毎回食べ切れない量の料理が出て来ます。最初は頑張って食べていましたが、後半は残していました。

ホームステイで驚いたこと(3)



綺麗好き

意外かもしれませんが、ガーナ人は綺麗好きの人が多いです。朝と夕方掃除したり、洗濯は大量の石鹼を使ったり、洋服のシワには気をつかいます。ただ、動物のフンを踏んでも気にしないように、綺麗好きの基準がよく分かりません。



街中に動物がいる

そこら中に牛、ニワトリ、ヤギ、犬がいます。
(写真は家の前の道路を牛が横断している様子)



学校内にも動物がいる

配属先の学校内にも動物が多いです。もちろん教室にも入って来ます。
(写真は現地語の授業中に教室内に迷い込んだヤギ)

**ここからはタマレで
撮った写真を紹介**

タマレの中心部



タマレの中心部は交通量が多く運転が荒いため、うかつに道を渡ろうとするとひかれる可能性が高いです。



中心部のマーケットは多くの人と物であふれています。生活に必要な物は大体買えます。



タマレの子供たち



家の近くに小学校、中学校、高校、大学があって、多くの子供たちがいます。屋外で遊んだりスポーツを楽しんでいる子供ばかりで、向こうから積極的にあいさつしたり話しかけて来ます。



ホームステイ先でカレーを作る



ホームステイのお礼でカレーライスを作りました。材料は全てガーナで買いました。日本のカレーライスはガーナでも好評です。